

2025.2.28 -



LION Digital Transformation

組織紹介資料

今日を愛する。

LION

Lion Corporation.

今日を愛する。
LION

次世代ヘルスケアの リーディングカンパニーへ

習慣には社会を変えるチカラがあります。

ライオンは、より多くの人・より多くのエリア・より多くの生活シーンで、
人々の心と身体のヘルスケアを実現します。

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

ライオンは、1891年の創業以来、今日にいたるまで習慣づくりを通じて社会に貢献する活動を一貫して続けてまいりました。日々の歯みがき、洗濯、手洗い、食器洗いといった一つひとつの習慣は、日々の暮らしに溶け込み、当たり前の生活行動になっていますが、実は大きな役割を果たしています。適切な歯みがき習慣を身につけることは口腔内の健康状態の維持・改善に役立ち、ひいてはそれが全身健康の維持に大きく関わっていることが明らかになっています。また、さまざまな感染症予防に手洗い習慣が大変重要であることも周知のとおりです。

当社は、130年余りの長きにわたって、ハミガキやハンドソープ、洗濯用洗剤などの生活必需品をお届けするとともに、さまざまな事業活動を通じて、この習慣づくりに貢献しながら、事業を発展させてまいりました。

そして、近年大きな社会課題となっている、気候変動や海洋プラスチックの問題にも習慣づくりは大きな役割を果たしています。家庭内から排出されるCO2は、日本の場合、全体の約15%を占めますが、その削減には節水や節電などのエコの習慣づくりが欠かせません。

人々の心と身体の健康の実現に加え、サステナブルな社会の実現にも大きな役割を果たすことができるのが毎日の習慣なのです。

習慣には大きなチカラがあります。人々の生活の大部分を占める日常の気の進まないことを前向きな体験、即ちPositive Habitsに変えていくことで、幸せの総和を増やしていくことができます。当社はこのような考えのもと、パーパス（存在意義）を「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）」と定め、「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」という経営ビジョンの実現に向けた中長期経営戦略フレーム「Vision2030」を策定して事業活動を展開しています。

私たちの社会は現在、先に述べた環境問題やパンデミックに加え、食料問題や少子高齢化などのさまざまな課題に直面しています。習慣づくりを通じて社会課題の解決にアプローチするというユニークネスを最大限に発揮し、その活動の領域を大きく拡大することによって、更なる事業成長の実現とともに、サステナブルな社会の拡大に挑戦してまいります。

代表取締役兼社長執行役員

竹森 征之

Company —会社概要—	7
会社概要	8
パーパス	9
沿革	11
事業部・事業構成	12
数字でみるライオン	13
Vision2030 —ライオンの目指す未来—	14
中長期経営戦略フレーム「Vision2030」	15
3つの基本戦略	16
About LDX —ライオンのデジタル戦略—	20
トップメッセージ	21
LDXとは	22
LDXの3つの戦略	23
LDXにおける重点テーマ	24
デジタル戦略推進体制	25
デジタル戦略部長メッセージ	26

About LDX ーライオンのデジタル戦略ー

20

戦略企画グループ

27

情報システムグループ

28

データサイエンスグループ

29

取り組み事例①事業基盤の変革

30

取り組み事例②オーラルヘルスケア分野

31

取り組み事例③生成AIの普及・促進・未来

32

サービス・プロダクト紹介

37

Assessment and Treatment ーライオンの評価・待遇ー

40

企業理念

41

ライオンの目指す働く環境

42

人事制度の仕組み

43

人事制度

44

成長支援施策

45

職群の導入

46

Workstyle and Policies ーライオンの働き方・制度ー 47

キャリア開発	48
ワークスタイル	49
ライオンオフィス	50
福利厚生	52

Recruitment ー採用情報ー 54

採用メッセージ	55
デジタル戦略部で得られる知見・経験	56
社員の声	57
選考プロセス	58
エントリー・お問い合わせ	59

01

Company

会社概要





商号

ライオン株式会社 (Lion Corporation)

創業

1891年 (明治24年) 10月30日

設立

1918年 (大正07年) 09月

資本金

344億円 (2024年12月31日現在)

本社所在地

〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28
TEL : 03-6739-3711

代表者

代表取締役兼社長執行役員 竹森 征之

従業員数

連結 : 7,654名 個別 : 3,068名 (2024年12月31日現在)

事業内容

ハミガキ、ハブラシ、石けん、洗剤、ヘアケア・スキンケア製品、クッキング用品、薬品などの製造販売、海外現地会社への輸出

売上

連結 : 4,129億円 [IFRS] 個別 : 2,244億円 (2024年12月期)

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する (ReDesign)

ReDesign

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

より良い習慣づくりで、

人々の毎日に貢献する

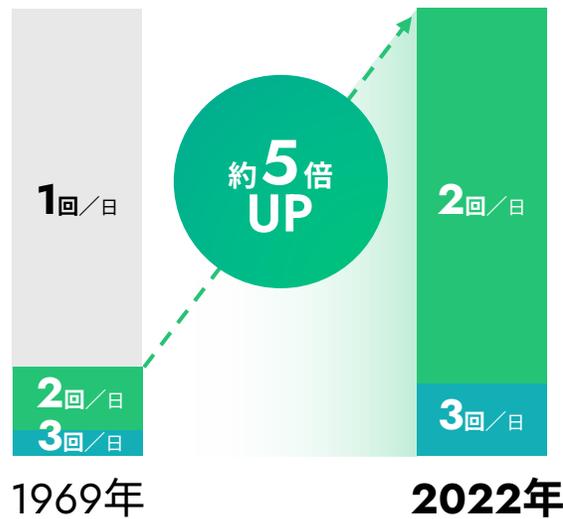
ライオンは創業以来、口腔衛生習慣や清潔・衛生習慣の普及に尽力してきました。「より良い習慣づくり」は、これまでやってきた活動そのものであり、生活や社会の課題を解決し続けるという思いが込められています。この本質は変わらず、現在もより良い習慣づくりの普及の取り組みを広げています。

「人々の毎日に貢献する」には一人ひとりの未来と社会につながる日々の繰り返し＝毎日に貢献するという意味が込められています。

ライオンはこれまでも習慣をつくり、再設計を繰り返しながら、人々の日々の生活に貢献してきました。
2020年にライオンの提供価値を改めて整理し、“より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）”とパーパスを設定。人々の健康に貢献する「習慣づくり」と「マーケットの活性化」は密接に結び付いています。パーパスの実現は企業価値の向上に繋がっています。

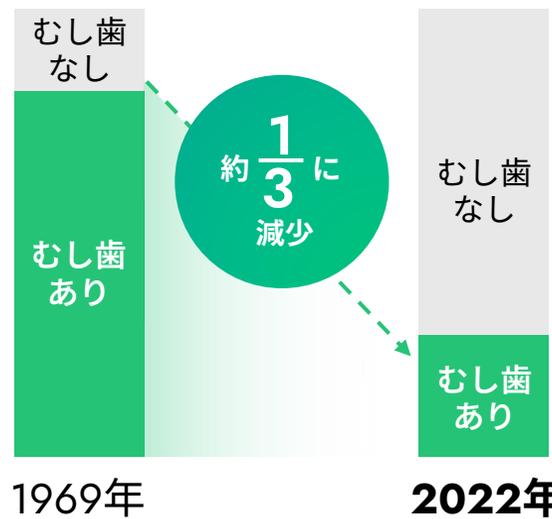
歯みがき習慣に関する社会の変化

1日に2回以上
歯みがきをする人の割合

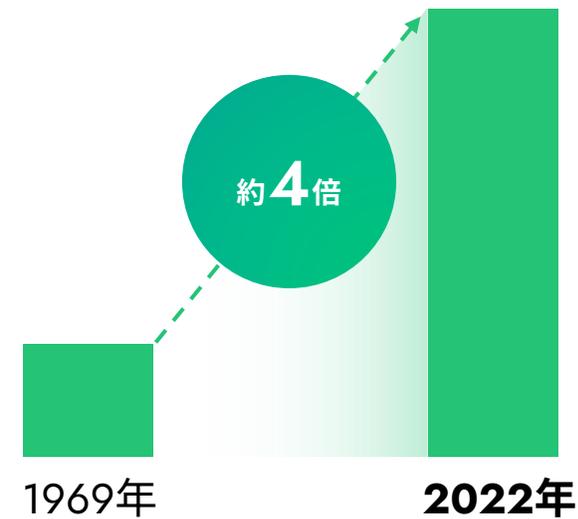


小学生のむし歯比率*1
(6~11歳)

*1: むし歯の有病者率



ハミガキの
マーケットサイズ

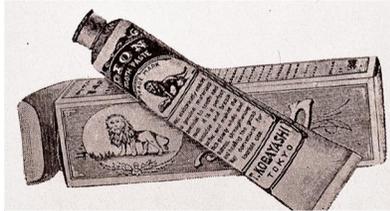


※出所：歯科疾患実態調査（歯みがき回数）、文部科学省 学校保健統計調査データ（むし歯比率）、ライオン調べ（マーケットサイズ）

ライオンの歴史は「習慣づくり」の歴史

1911

『ライオン煉歯磨』発売
国産初のチューブ入の
ねりハミガキ



1932

全国小学生歯みがき大会
子供の歯磨き習慣の定着化
のために開始



1969

『バネットライオン』
ハブラシ発売



1993

『デンターシステム
ライオン』発売



現在

1890~

1900~

1930~

1960~

2000~

1891

創業
小林富次郎商店



1921

『ライオン児童歯科院』
開院
学校巡回診療なども始める



1966

定着から質の高い習慣へ
歯みがきポスターなどで
啓発活動を開始



1981

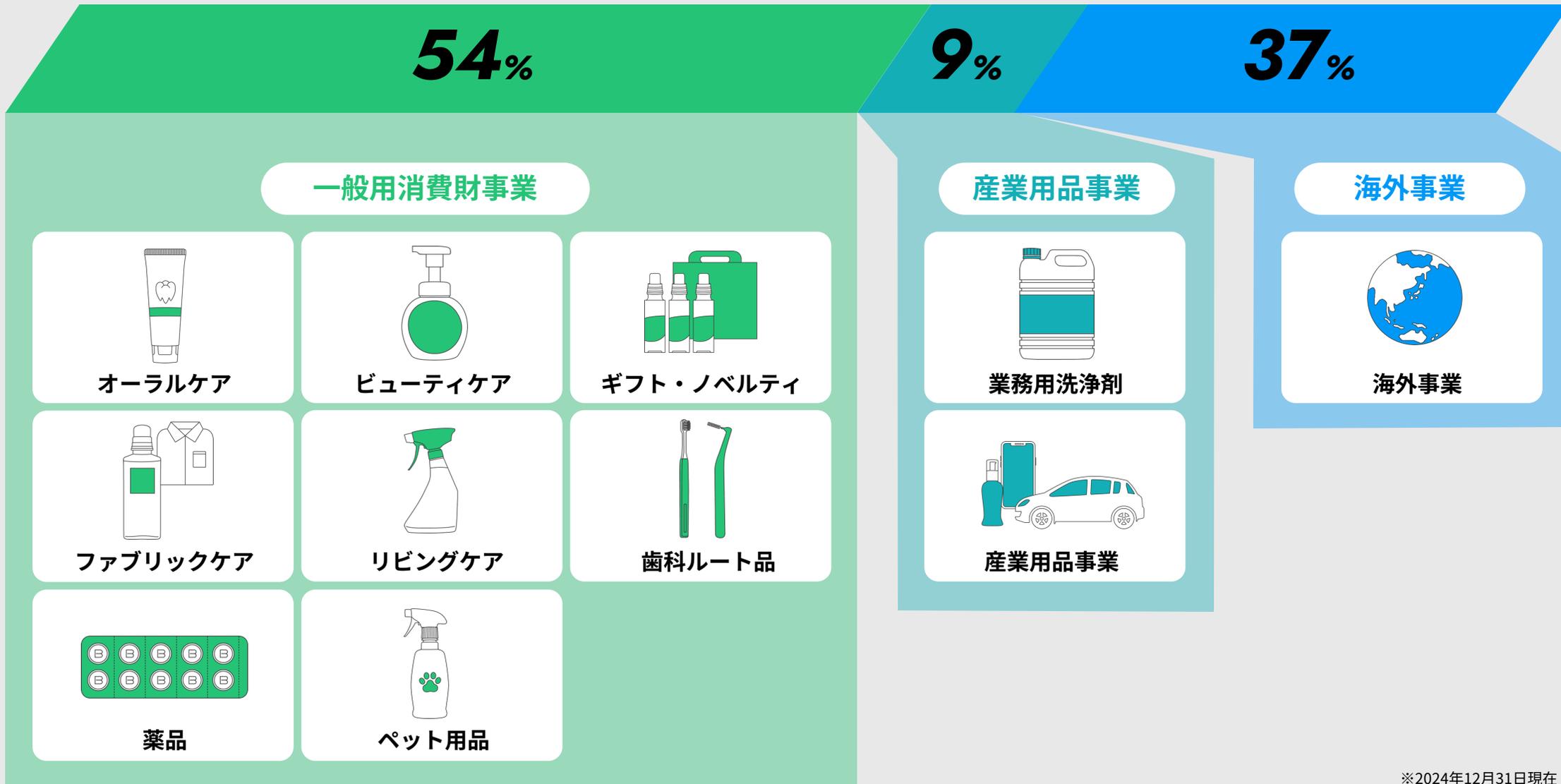
『クリニカライオン』
発売
予防歯科から生まれた
歯磨き粉ブランド



2023

『クリニカPRO
ハブラシ ラバーヘッド』
発売

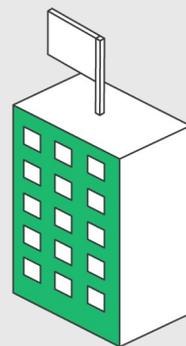




※2024年12月31日現在

創業

133年



石けんとハミガキから始まったライオンは、1891年の創業以来、より良い習慣づくりを提案してきました。

事務所・拠点

国内

事業所 12
 オフィス 6拠点
 研究所 2拠点
 工場 4拠点



関係会社 9

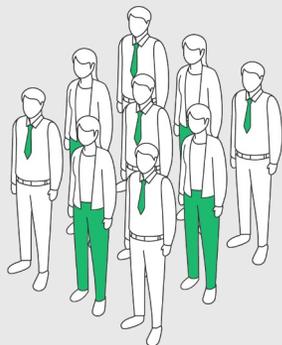
海外

11拠点



従業員数

7,654名



※グループ連結
 ※2024年12月31日現在

連結業績

売上高 4,129 億円
 事業利益 263 億円



※2024年 国際財務報告基準 (IFRS)
 ※事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

02

Vision2030

ライオンの目指す未来

1st STAGE

2nd STAGE

3rd STAGE

経営ビジョン

次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ

当社グループは、2030年に向けた経営ビジョン
「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」
を掲げています。

ビジョン実現にむけ、パーパスを起点とした経営を
一層強化し、サステナブルな社会への貢献と
事業の成長を目指すべく中長期経営戦略フレーム
「Vision(ビジョン)2030」を策定。

アジアを中心に習慣づくりを通じた社会価値、
経済価値の創出を目指します。

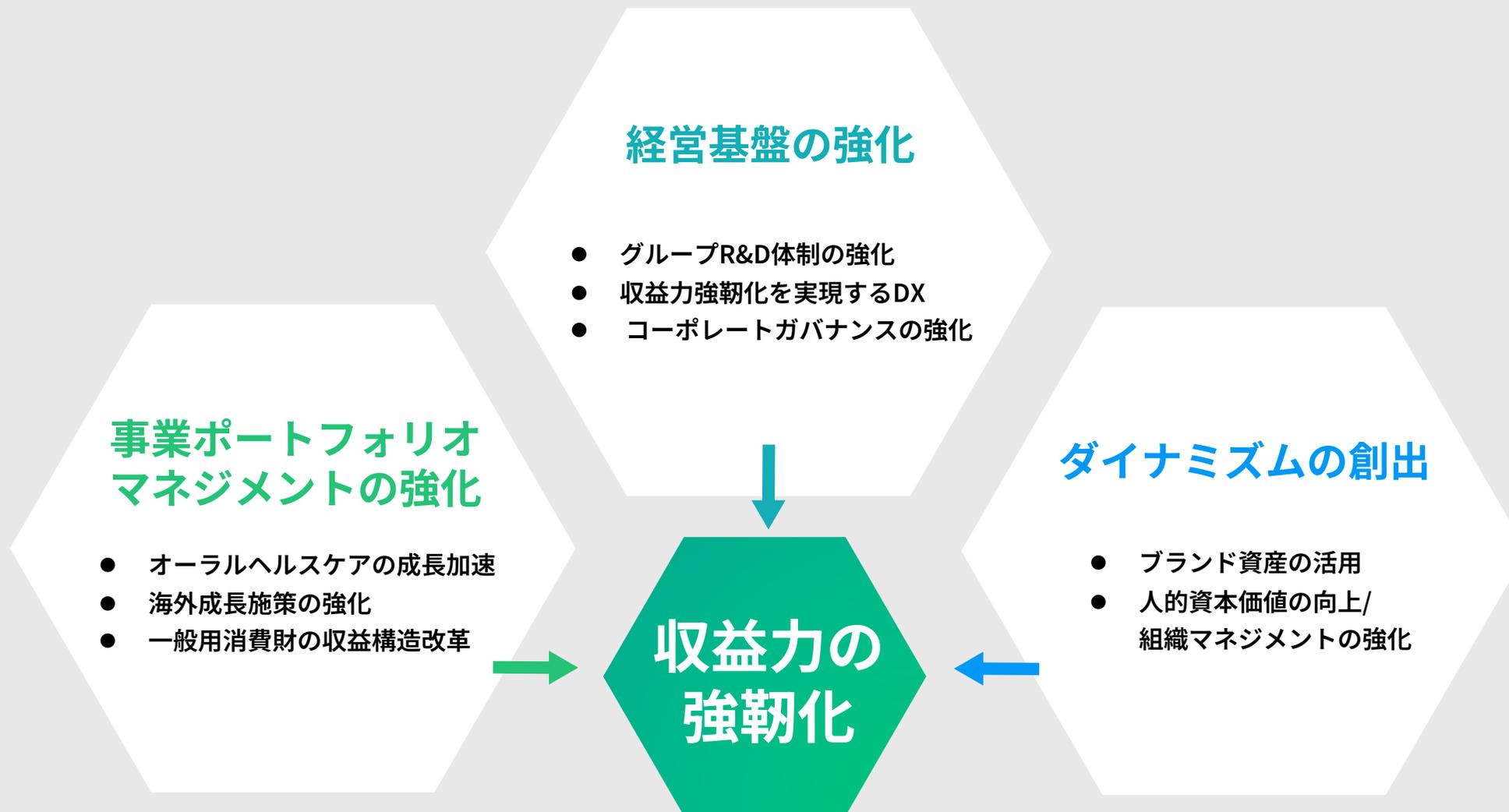


パーパス

ReDesign

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

「Vision20302nd STAGE」における、 収益力の強靱化に向けた3つの基本方針



経営資源の配分を先鋭化し、収益性の高い事業ポートフォリオを実現

成長性・資本収益性ともにグループを牽引する「オーラルヘルスケア事業」には国内外ともに積極的に経営資源を配分。

さらに、2024年から取り組んでいる「海外成長施策の強化」、「一般用消費財の収益構造改革」をさらに強化し、確実な収益性向上を図ります。

オーラルヘルスケアの成長加速

製品とサービスの融合や価値提供範囲・対象市場の拡張により、ユニークかつ収益性の高いビジネスをアジアで展開していくことで、人々の「食べる・話す・笑う」に貢献します。



海外成長施策の強化

生活者ニーズを細やかに捉えた研究開発力や各国・エリアにおける配荷力を活かし、2nd STAGEではオーラルヘルスケアを中心にさらなる利益ある成長を目指します。



一般用消費財の収益構造改革

ブランドマネジメント強化、サプライチェーン効率化、プライシング・競争費用適正化といったアクションを実行。また、データを高度に活用した効率的なマーケティングを実践します。



サステナブルな事業成長と効率性の高い事業運営のために **3つの基盤を強化**

グループR&D体制の強化

イノベーション創出力の強化、製品開発のスピードアップを目的として、各拠点の役割を明確化。現地主導での開発により、よりニーズを捉えたスピード感のある製品開発を実行。また、日本・中国は技術イノベーションのハブとして、コア技術の深化・革新に重点をおいていきます。



収益力強靱化を実現するDX

デジタルを活用した製品・サービスなどの創出と付加価値最大化や、効率的なサプライチェーンマネジメントの実現、業務効率化を実施。また、デジタルと業務をつなぐ役割を果たすデジタル活用人材の拡充・育成に注力します。



コーポレートガバナンスの強化

当社グループの企業価値向上に向けてガバナンス強化を図り、経営の質の向上を目指します。



戦略推進力の強化に向け、**グループ資産を最大活用しダイナミズムを創出****ブランド資産の活用**

LIONの価値を高め資産化し、アジア全体で存在感を示すことや、グローカリゼーション戦略に基づくブランド展開を実施。コーポレートブランド、プロダクトブランドの資産価値を最大活用できるようにします。

今日を愛する。
LION

**人的資本価値の向上
組織マネジメントの強化**

国境・組織を超えて活躍できる専門人材の育成・キャリア支援や、戦略を実行する組織力の強化を実施。個の成長と組織の力を最大限に引き出し、グループ全体での新たな価値創出を目指します。



03

About LDX

ライオンのデジタル戦略

デジタルの力で、新しい時代の習慣を作る。

ライオンには、130年以上にわたり真摯にモノづくりと習慣づくりに向き合ってきた歴史があります。例えば、社内ではハミガキに使われるミントの香料開発。ファーマーの技術と努力が質の高い天然ミントを育て、社内で育成されたフレーバリストが経験と技によって香りを開発しています。社外では、90年以上にわたって全国小学生歯みがき大会の実施など、より良い習慣を提案してきました。

その伝統を継承しつつ、デジタルによる新しい時代の習慣づくりが我々の次の課題です。現在、生活者の隣には24時間365日スマホがあり、テクノロジーに触れる毎日です。そして、ライオンの研究開発部門は、口腔内に関する膨大なデータを持っています。時代によるライフスタイルの変化とライオンの蓄積にテクノロジーをかけ合わせれば、モノだけではなく、今までになかったまったく新しいプロダクトを生み出せる可能性があります。そしてそれは、今後のライオンにとって必要不可欠な機能でもあると感じています。

2023年、戦略企画、情報システム、データサイエンスの3つのグループからなるデジタル戦略部が発足しました。組織のしがらみに左右されない、三位一体スピーディーな組織運営を実現していきます。私たちが持つテクノロジーは、ライオンのモノづくりの成長とより確かな習慣づくりに貢献をしていきます。それは、ライオンを次のステージに押し上げることだと私は信じています。

執行役員

全社デジタル戦略担当、デジタル戦略部担当

中林 紀彦

日本アイ・ビー・エム株式会社においてデータサイエンティストとして顧客支援に従事。

株式会社オプト、SOMPOホールディングス株式会社、ヤマトホールディングス株式会社の執行役員を歴任し、2024年4月にライオン株式会社の執行役員に就任。

LION DIGITAL TRANSFORMATION

LDX

習慣を科学する

データやテクノロジーを駆使して 「良い習慣づくり」のために「習慣を科学する」

行動や習慣を、デジタル技術やデータサイエンスを使って
「習慣を科学する」ことで、人々のより良い習慣づくりに貢献する
新しい製品・サービスを創出していきます。

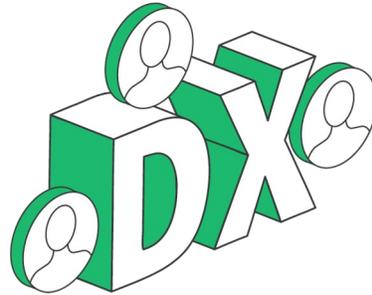
01



データ基盤整備による 未来予測型経営

デジタルを活用して、過去実績・将来予測に基づく施策・改革のマネジメントを可能にし、2nd STAGE実現の蓋然性を高めます。

02



DX民主化による オペレーショナル・エクセレンス

個の成長に加え、全社員対象のスキル別育成プログラムを実施することでリテラシー向上を図り、業務管理や運用効率化による競争優位を獲得します。

03



デジタル活用による 重点領域強化

デジタルプラットフォーム整備によるオーラルヘルスケア事業支援を実施。重点事業領域拡充に向けて、柔軟でスケーラブルな基盤構築に加え、データ活用によるユーザー体験の向上を実現します。

デジタル活用による経営管理レベルの引きあげ、 事業効率化・重点領域強化を行い企業価値向上につなげる



企業価値
 ROIC/EBITDAマージン
向上

※製品の企画や設計から生産、販売、廃棄に至るまでのライフサイクル全体を統合的に管理する仕組み

デジタル戦略部



戦略企画グループ

Mission

- 国内外ライオングループ全体におけるDX戦略の策定・実行
- ライオングループ全体のDX人材育成
- デジタル戦略部員の能力開発



情報システムグループ

Mission

- ビジネスの加速支援
- ビジネスにおけるリスクの低減
- それらを実現するためのITインフラを構築・運用



データサイエンスグループ

Mission

- 専門家集団として、データ分析関連業務全般を実行・支援
- 先端デジタル技術を活用したシステム開発・導入・施策を提案し実行

利益を生み出すデジタル戦略部へ

従来、当社では、20~40年ほど前に原型を構築した多数のシステムからなる基幹システムを利用しており、激しく変化していく事業環境への俊敏な対応という点で多くの課題を抱えていました。しかし数年前、この課題の解決には抜本的な改革が必要と決断し、過去に例を見ない非常に幅広い業務領域を対象とした、業務改革（BPR）を伴う基幹システムの一斉導入に取り組み、2022年に稼働を果たしております。

一方、基幹システム導入と並行し、データサイエンス・マネジメントやアジャイル開発・市民開発、全社デジタルスキルの底上げなどのDXの取り組みも拡大しており、一時期は基幹システム導入と業務改革、DX、従来のITそれぞれを3つの組織で別々に担当していました。組織が分かれていることにはメリットもありますが、リソースの分散や人材育成・戦略徹底における非効率性などのマイナス面もあり、それらを克服し、統一された戦略のもと、会社や業界全体のデジタル変革を主導していくことを狙い、2023年に3つの組織を統合して「デジタル戦略部」を設置しました。この統合により、戦略面でも人材面でもITとDXが高度に融合し意思決定と施策実行のスピードと質が格段に上がってきています。

これまで、私たちは主にシステム基盤や実行体制の整備を行ってきましたが、今後は特にデジタル領域の人材育成・獲得に注力していきます。パートナーと対等に対話したり自らプロダクトを開発したりするなど、高い専門性を発揮し、利益ドライバーの多くがデジタル技術によって構成される会社に変えていくことを目指しており、デジタル戦略部はその変革を先導する存在でありたいと思っています。

デジタル戦略部長

木下 陽児

1994年に研究職として新卒入社。研究部門IT担当、経営企画、SCM部門等を経て2019年からBPR推進部長として基幹システムの全面刷新を主導。2023年より現職。

Mission

- 国内外ライオングループ全体におけるDX戦略の策定・実行
- ライオングループ全体のDX人材育成
- デジタル戦略部員の能力開発



戦略企画グループ マネージャー

菊池 智裕

2011年ライオンに新卒入社。営業職や通販領域のマーケティング、事業統括業務を経て、2018年にコンサルティングファームに転職。その後、生成AI領域のスタートアップでマーケティング・営業を管掌した後、2024年にライオンにジョブリターンし、2025年より現職。



全社戦略とデジタルを繋ぎ企業価値向上に寄与する

戦略企画グループは「グローバルDX戦略の立案・推進」「全社員のDXリテラシー向上」「デジタル戦略部員の能力開発」の3つのMissionを持ち、ライオンの全社戦略とデジタルを繋ぐ役割を担っています。

ライオンの中期経営計画(Vision2030)は9カ年計画で現在は2025年から2027年までの2ndSTAGEに突入しています。2ndSTAGEにおけるデジタル戦略は、「経営情報整備」「人的資本経営」「新規事業支援」の3つを重点領域とし、各バリューチェーンで13テーマを策定しています。例えば、「経営情報整備」では各部門に散在している施策粒度でのデータを集約し、過去データやトレンドを分析することで、複数の将来シナリオを想定可能にしていきます。また、各シナリオにおけるインパクトやリスク評価から、不確実な未来に対する意思決定の高度化も行っていきます。人的資本経営ではデジタル関連施策をリードする「デジタル活用人材」の育成に注力しており、国内約3,000人のデジタルスキルを可視化した上で、2026年度までに国内従業員の約30%にあたる1,000名を育成する計画です。

Mission

- ビジネスの加速支援
- ビジネスにおけるリスクの低減
- それらを実現するためのITインフラを構築・運用



情報システムグループ マネージャー

土谷 一郎

1998年新卒入社。営業職から統合システム部に異動し、その後は営業や基幹業務の改革に従事。2023年より情報システムグループのGMに就任。

経営と現場をダイナミックにつなぐ情報システムへ

情報システムグループは、システムの安定稼働やセキュリティ対策の強化をしながら、業務部門と協力し最新のIT技術の導入などに取り組んでいます。我々は日々の活動の中で、営業や研究など、現場で活躍している人から経営層まで、幅広いメンバーと関わらなければなりません。各組織の戦略をしっかりと理解し、各組織がシステムやデータを活用することでデジタル化を後押ししていく。社員や会社を動かし、お客様に新たな価値を提供する幅広い仕事だと感じています。現在掲げているデジタル戦略においては、全社で今どのようなデータが、どのようなタイミングで取得できるかを考え、全社のデータを集約し、活用できるデジタル基盤を整備する役割を担っています。

情報システムグループのミッションは、ビジネスを加速させる、ビジネスにおけるリスクを低減する、それらを実現するためのITインフラを構築・運用するといった3つになります。どこの会社でもこの3つは一緒だと思っていますが、業務を無視して情報システムの仕事はありえません。当社のベストを探って作っていくことを目指しています。

また今後は、国内だけではなく、海外拠点も含めたグローバルでの情報システムを設計し、デジタル戦略が国内外問わず実現できるようにすることも、我々のミッションに加わると考えています。

Mission

- 専門家集団として、データ分析関連業務全ての対応を実行・支援
- 先端デジタル技術を活用したシステム開発・導入・施策を提案し実行



データサイエンスグループ マネージャー

山岡 晋太郎

2000年新卒入社。生産技術職として生産プロセスのスケールアップ検討に従事した後、新規事業開発部門へキャリアを移す。さらにDX推進部門へ異動し、2023年よりデータサイエンスグループGMに就任。

LIONのデータをどう使うか？ 経営改善からプロダクト作りまで広範囲の データ活用を推進する

データサイエンスグループは、ライオンでもっともデータサイエンスに関連する知識・スキル・情報を有した専門家集団として、各部門と連携しながらデジタル戦略の13テーマの目標達成に貢献することがミッションです。経営戦略に関わる13テーマはきわめてスコープが広く、社内のさまざまな事業に関わります。またデータサイエンスグループのメインスコープはデータ分析ですが、機械学習や深層学習、時系列予測、医療統計など縦にも深いことが特徴です。

この広範な活動を支えるのは、多様なスキルセットを持つチームメンバーです。データサイエンスやデータ基盤構築、クラウド構築に関する知見が深いメンバーや既存のドメインに強いメンバー、アカデミックな研究メンバーなどが揃っており、それぞれが持つ専門知識と技術を活かして業務に対応しています。

取組事例としては、社員の医科・歯科健診とレセプトデータ分析により、健康リスクの要因やオーラルケアの影響を解明し、医療費適正化や健康経営高度化の実現を目指しています。また、経営指標の可視化や、計画達成に向けた未来予測に基づく意思決定の最適化、改善因子の迅速な把握とシミュレーションによる意思決定のスマート化などによる経営管理骨格強化にも取り組んでいます。



古くは1980年代に構築された複数のシステムで運用していた。

2018年～
基幹システムの刷新と
全社横断での
業務プロセス改革

生産・販売・在庫管理データなどのサプライチェーンマネジメントに関わるシステムを全面的に刷新

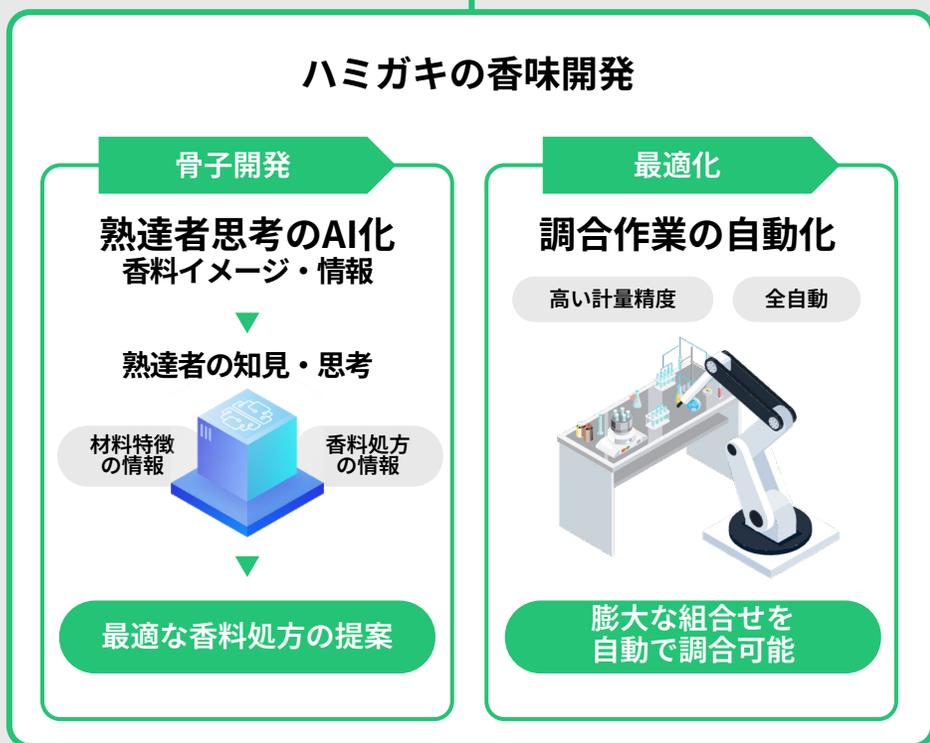
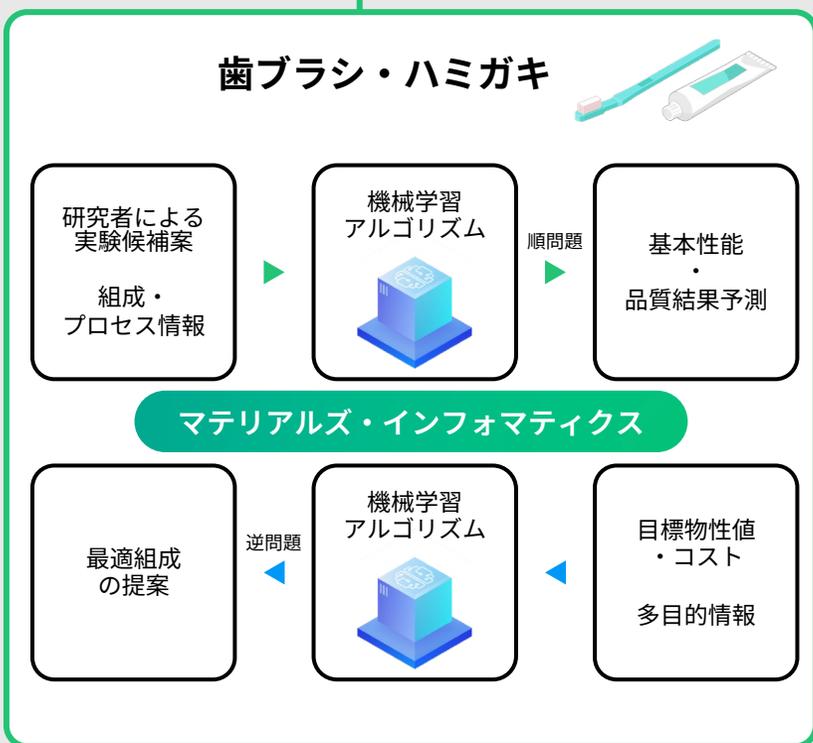
より速く的確な商品供給を実現



- 各業務プロセスが可視化
- データがリアルタイムでつながる
- 統一したシステムで、連続性のあるデータ取得が可能

- 在庫削減
- トレーサビリティの向上
- 原価管理の精度向上

データと研究員の知見を デジタル融合させた新しい業務体験



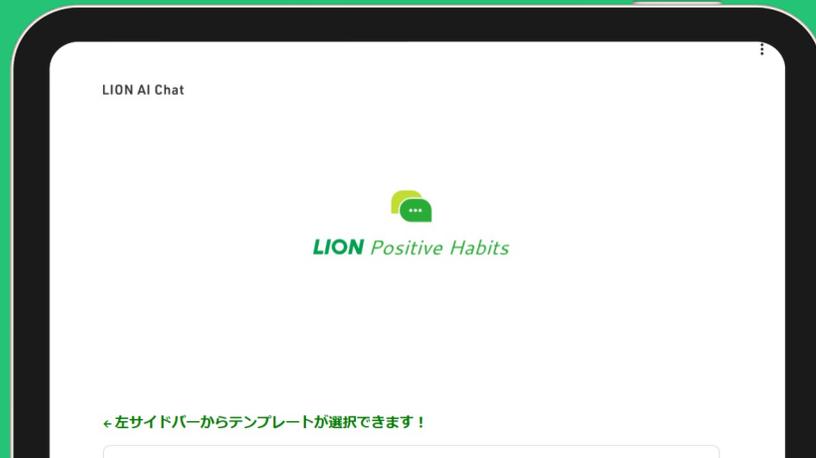
新たな価値創出の時間に活用

開発スピードアップ

「全社普及」と 「領域別の活用具体化」の2軸で推進中

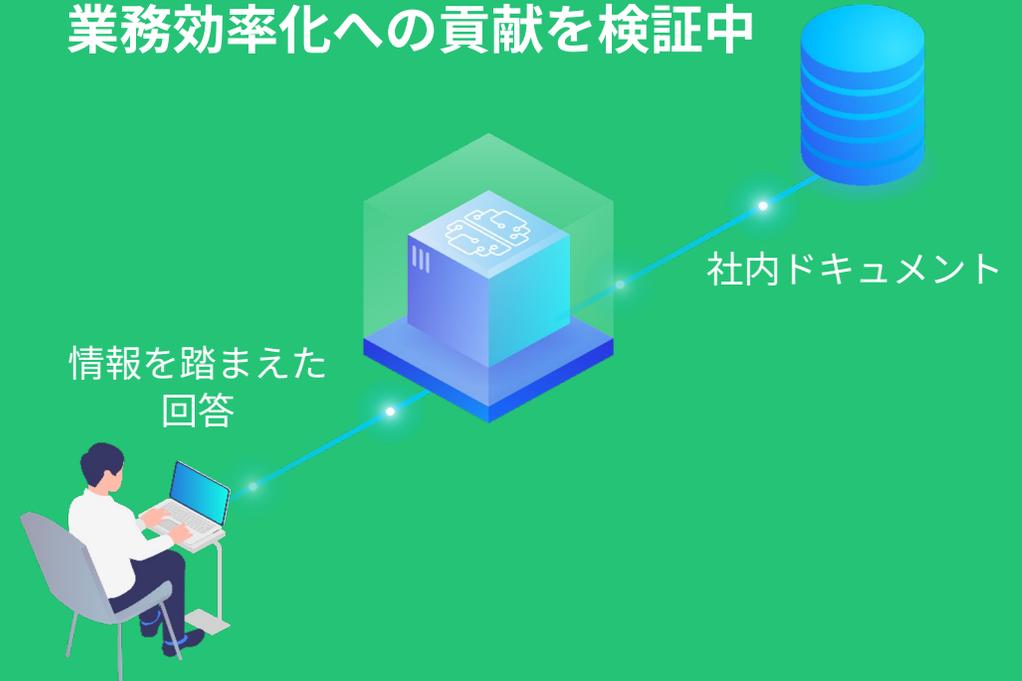
活用促進

- 全社向けの生成AIを活用できる場として提供
- 利用促進に向けて、普及活動や用途拡大の取り組みを推進中



社内データとの連携

各組織の情報に基づいた回答を生成することで、組織課題の解決や業務効率化への貢献を検証中



機密性の高い社内の情報を
安全に取り扱うため

内製での開発を選択

世の中の技術進歩が速い中で、
比較的自由に技術検証を実施するため

社用
webアプリ
登録なく
誰でも使える



各クラウド事業者の契約準拠&データの安全性確保

LION AI Chatでは

データが2次利用されない

データが外部から閲覧されない

社給PC LIONET

ブラウザ接続 Edge, Chromeなど



一般的なブラウザ起動

各自で
ログインや
規約への
同意が必要

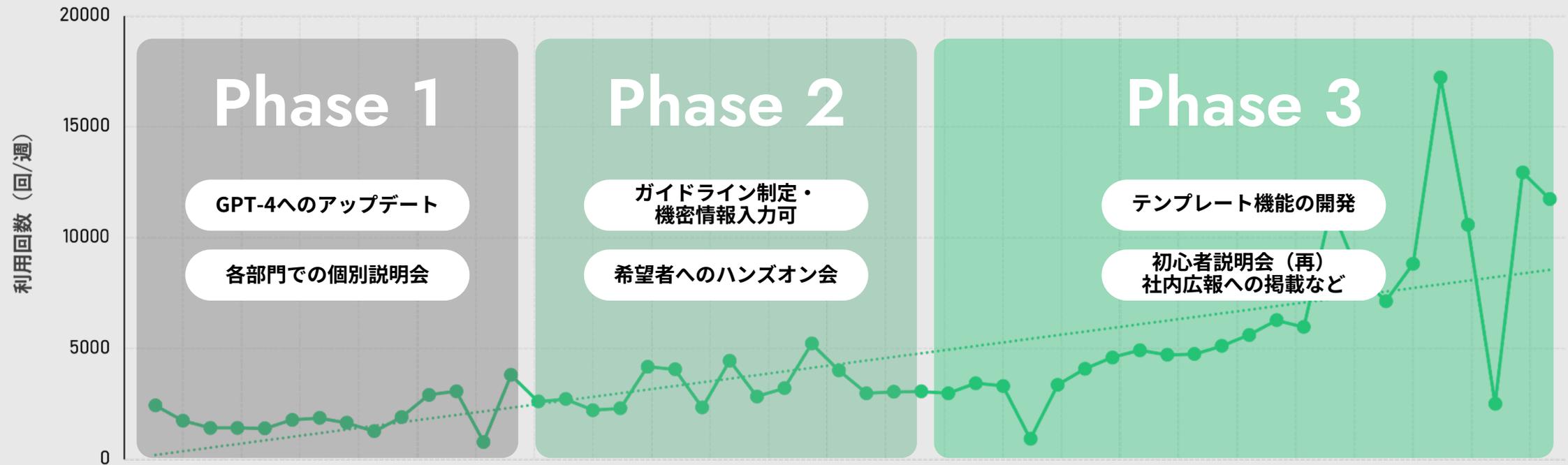
各AIサービスの通常利用では

⚠ 学習データに2次利用される

⚠ 外部環境にデータが保存される

これまでの利用状況

- LION AI Chatの機能開発やガイドライン制定と、普及浸透活動を両輪で実施
- 直近の週間利用回数が**平均10,000回**を突破
- 現在はLION AI Chatの機能拡充と社内情報連携の2軸で進め、活用促進



生成AIを「民主化」して 自分専用のアシスタントへ

個別のカスタマイズ

各組織の情報や自分だけの情報に
基づいた回答を生成することで、
自分専用のアシスタントとして活用



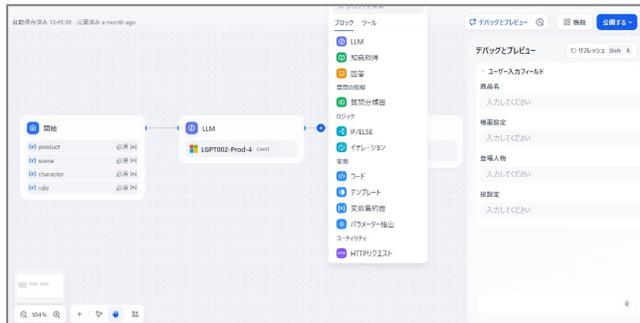
専用アプリ

就業規則についての問い合わせ

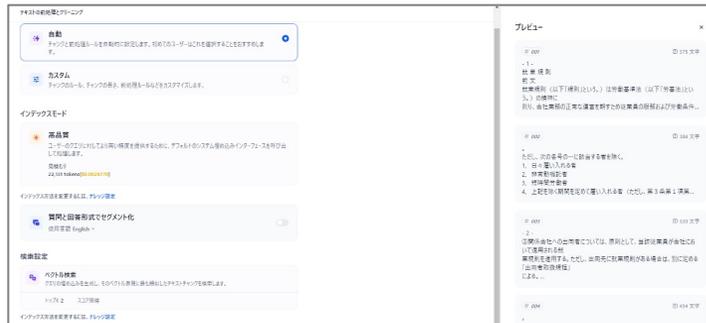


生成AIを「民主化」して 業務特化型アシスタントへ

ノーコードでワークフローを構築



独自データとの連携



UIとのシームレスな連携



- プログラミングの知識やスキルがなくても、ドラッグ&ドロップ操作でアプリケーションを構築可能
⇒ **誰でも直感的に生成AIアプリを作成できるプラットフォーム**
- 作成したツールは、専用のURLを共有することでライオン社員であれば利用可能
- RAG(*)機能を活用することで、組織内に蓄積された独自のドキュメントやデータをもとに回答できる。

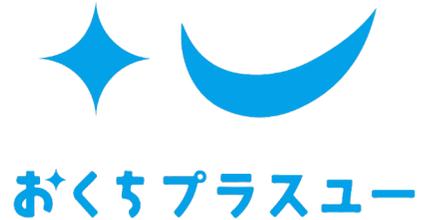
(*) Retrieval-Augmented Generation 検索拡張生成

toB／toC向けの プロダクトを展開

子どもから大人まで、幅広い年代のオーラルヘルスケア習慣の支援をしています。

法人向け

健康経営支援サービス



オーラルケアへの興味と実践を無理なく促すウェルビーイングサポートサービスです。

個人向け

子ども向けお口の健康習慣支援サービス



3つのステップで、6歳からの噛む力と、歯ならびの土台づくりをサポートします。



ゲーム感覚で楽しみながら、仕上げみがきの卒業をサポートするプログラムです。

法人向け 健康経営支援サービス

ライオンが保有する膨大なオーラルケアに関するデータや生活・オーラルケア習慣などのデータに関するアンケート回答をもとに、口腔内の健康状態が見える化。おくちから全身健康への意識を高めるサービスを提供しています。

おくちプラスユーの4つのサービス



おくちプラスユー

オーラルケアへの興味と実践を
無理なく促すウェルビーイング
サポートサービス

サービスご提供人数
40,000人突破

施策受講従業員満足度*
94.9%
※ N=3,644、2024年9月末時点

オーラルケアセミナー



オーラルケアに関する情報を専門家がリアルタイムで講演するセミナー

e-ラーニング



オーラルケアに関するさまざまなテーマの動画を配信

唾液検査



おくちの健康状態が見える化する唾液検査

おくちの健康スコアチェック



アンケートに回答して、歯と歯ぐきの健康スコアをチェック

個人向け 子ども向けお口の健康習慣支援サービス

子どもの成長に合わせたオーラルケアプログラム『おくち育』。

おくち育

子どもの成長段階に合わせ、きちんとした歯みがき習慣づくりや、良い歯ならびの土台づくりを支援するオーラルケアプログラムです。

幼少期の頃からオーラルケア習慣を身につけることで、お口の健康や成長につながるとともに、毎日の生活リズムを整える、ひとりでやりきる力を身につけるなど、将来のさまざまな「生きる力」を育みます。

お口の健康習慣支援プログラム『噛もっと!』



「歯ならびの土台づくり」が重要な6~12歳の生え変わり期の子ども向けプログラム。AIアプリで歯ならびチェック、月1の噛む力をチェック、毎日の噛む力を育む『噛もっと! グミ』の3点でセットで、成長過程におけるお口の不安を解消します。

子ども向けハブラシ『まほうハブラシ』



専用のハブラシとアプリを使って「きちんとした歯磨き」を身に付け、仕上げ磨き卒業をサポートするプログラム。最速1か月程度で、子どもがゲーム感覚で楽しみながら歯みがきスキルの定着を目指せます。

04

Assessment and Treatment

ライオンの評価・待遇



ライオンの企業理念は **パーパス（存在意義）、ビリーフス、DNA** の3つで構成されています。

パーパスの実践に向けて、ライオンは共通の信念であるビリーフスを日々の考え・行動・判断の拠り所として事業活動を行っています。

その根底には、創業から受け継がれてきた想いであるDNAがあります。

PURPOSE

存在意義

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)

BELIEFS

信念



価値は
顧客が決める



自分の心に従い、
自ら動こう



スピードは
世界を救う



化学反応を
起こそう



変化こそ、
私たちを進化させる

DNA

創業から受け継ぐ想い

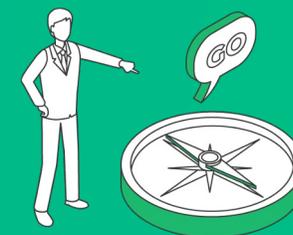
愛の精神の実践

ありたい自分を描き、 自ら成長できる会社にする

自己成長・自己実現を
目指しやすくなる



挑戦する・自ら取り組む文化を作る

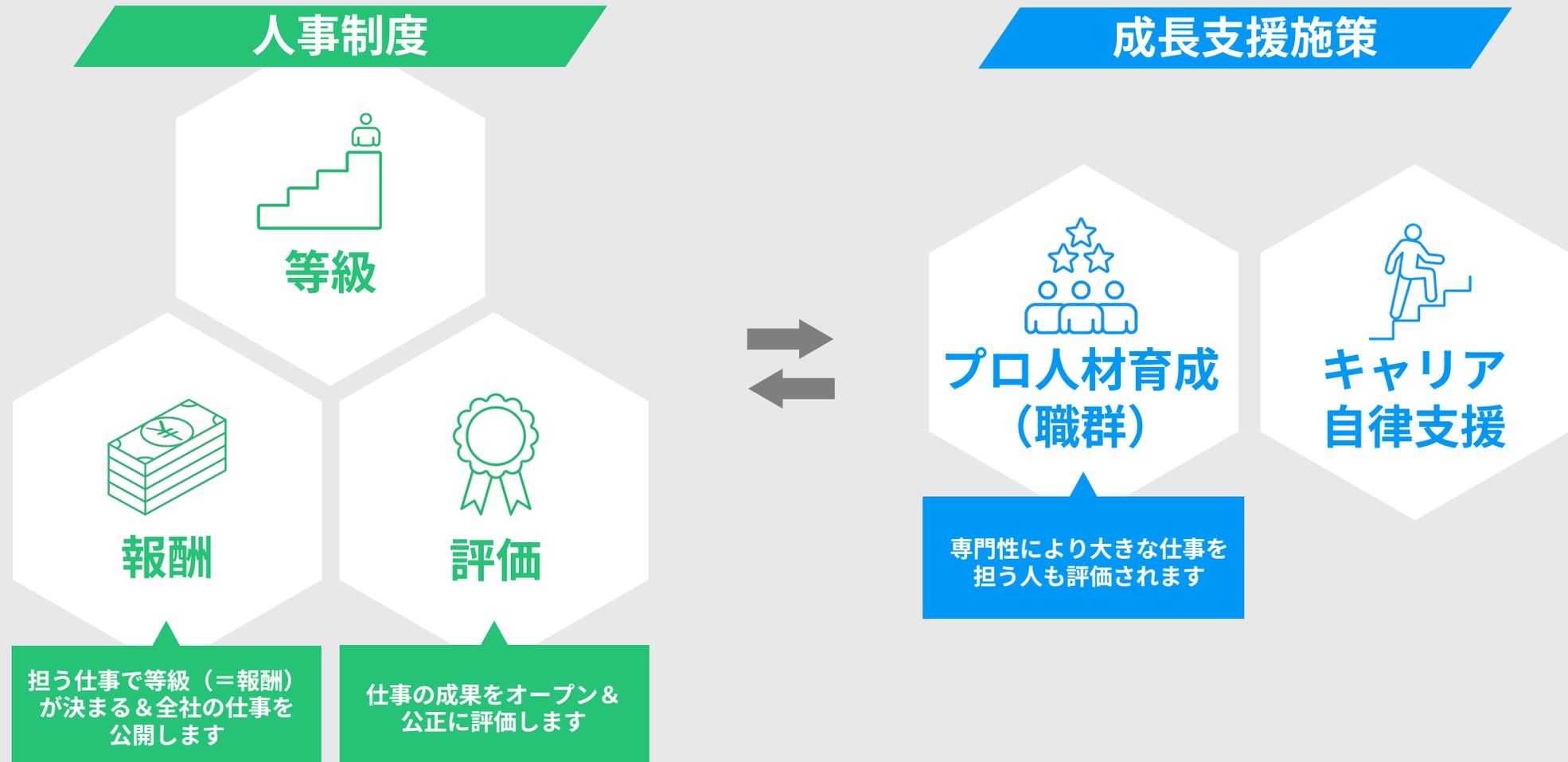


多様な人が活躍できるようにする



コアとなる2つの仕組み

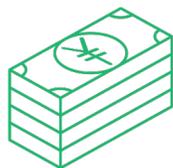
自らの意思と行動で経営ビジョンの実現に向けて活動し、働きがいをもって、生き生きと働く人・集団になるため、人事制度・成長支援策の2つの仕組みをもって人事制度改革を進めています。



人事制度



等級



報酬



評価

等級制度

職務もしくは役割の大きさによる等級とし、年功的な要素を排除。マネジメント階層とエキスパート階層のどちらにすすむかを自分で選ぶことができます。



報酬制度

各等級の職務サイズに対して、外部報酬水準と照らし合わせて報酬水準を設定します。



評価制度

成果（結果・プロセス）とし、定義書に定められる役割を果たせたかどうかを評価します。



成長支援施策



プロ人材育成
(職群)



キャリア
自律支援

職群とは



より専門性が高い人材を獲得・育成するため、専門領域を明示したキャリアパスや専門領域別の育成を実施していく枠組みです。

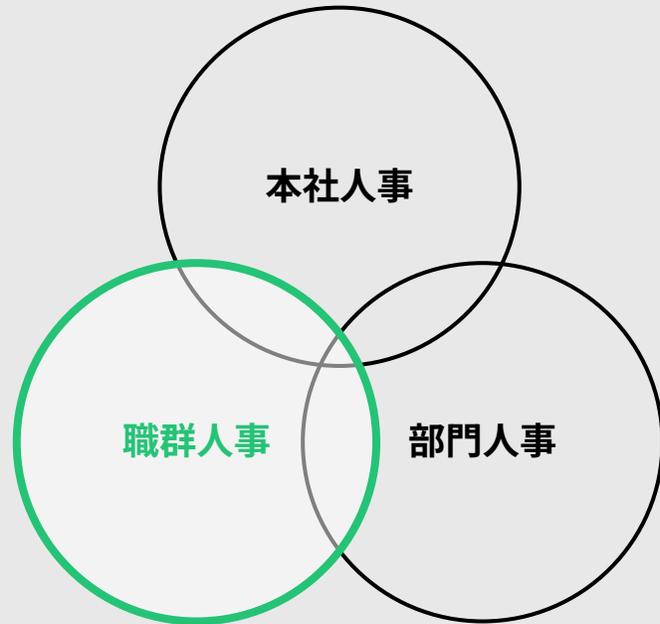
キャリア自律支援



チャレンジを後押し&不安を軽減しながら従業員のキャリア自律・キャリア実現をサポートします。

社員の自律的なキャリアパスの尊重とプロフェッショナル人材の育成・獲得を目的に、新しい枠組みを導入。
社員のキャリアプラン・専門領域と仕事のマッチングを図り、個人と会社の成長を強化します。

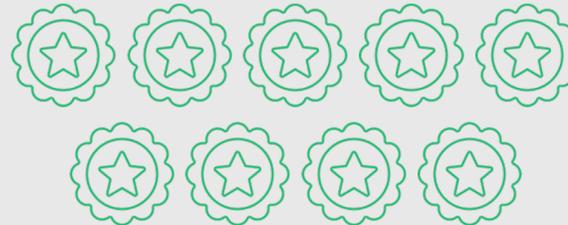
職群人事の設定



職群の設定

専門性を高める

9つの
職群



職群導入による
マネジメントの変化

プロフェッショナル育成

本人志向を尊重した
キャリアパス

専門性が近い部所間での
異動・任用

職群（職種）別採用による
自律性の高い人材獲得

05

Workstyle and Policies

ライオンの働き方・制度

社員一人ひとりの意識的自律を 人材開発・キャリア開発の面からサポート

人材開発

国内留学制度（MBA取得制度）

マーケティング学習プログラム

2021
New!

グローバル学習プログラム

NOIL(新価値創造プログラム)

ライオン・キャリアビレッジ

キャリア開発

キャリアデザイン・サポート（CDS）

キャリアデザイン・サポート窓口

キャリアデザイン・セミナー

キャリア設計シート

タレントマネジメントシステム

副業制度

テレワーク制度

「自宅または上長が認めた場所、ネットワーク接続ができ、出社指示があった場合に出勤ができる」といった条件を満たした場合制度活用できます。

テレワーク支援

テレワーク勤務を行った場合、テレワーク手当として支給します。

フルフレックス制度

業務効率向上や健康管理増進を目的として、出社・退社時刻を選択できます。コアタイムは無しで、1日4回まで中抜けも可能です。
※1日の最低就業時間は30分。

休暇制度

年間休日124日

年次有給休暇

リフレッシュ休暇

特別有給休暇

生理休暇

積立休暇

リスタート休暇

配偶者転勤時サポート制度

共働きの当社従業員において配偶者が国内・国外に転勤になった際、勤務地変更・帯同休職・帯同退職のいずれかを選択できる制度です。勤務地変更は異動可能な職務があった場合に限りです。また、帯同退職は再入社が確約されます。

例 配偶者（他社）

従業員



ライオンの配偶者転勤サポート制度にてシンガポール転勤を申請。海外拠点に異動可能な職務があり、転勤が実現!!

※職種によって適用されない制度があります。デジタル戦略部員はすべての制度が適用されます。



ライオンオフィス



社員のワーク・ライフ・バランスの実現を支える制度



通勤交通費

社会保険

家族手当

従業員持株制度

単身赴任手当

転勤者向け独身寮・社宅

財形貯蓄

食堂

社販実施

歯科検診

健康管理システム

常駐看護職による
健康サポート

福利厚生倶楽部加入



育児休業

ショートタイムフレックス制度

キャリアと育児の両立を支援する
オンラインサービス

産前・産後休暇

産前説明会

特別休暇（妻の出産）

復職前セミナー

復職時の上長面談

06

Recruitment

採用情報

私がライオンに入社した理由は、長年に渡り、「ヘルスケア」という重要なテーマに向き合い続けてきた同社が、デジタルを活用した新しい挑戦をしていることに興味をもったからです。世の中に大きな影響を与えられる企業が、全社を挙げてデジタル活用を進め、進化しようとしている。その責任者として業務を遂行できることにとてもやりがいを感じました。

ライオンは今、モノづくりの変革だけではなくデジタルで新しい習慣づくりを生み出すことにチャレンジをしています。研究組織が持つ膨大なデータとテクノロジーをかけ合わせ、アプリを通じてユーザー・歯科医・歯科衛生士などのステークホルダーを巻き込めば、新しいサービスを展開できます。今年はデジタル基盤としたサービスを事業として大きく育て、会社のポートフォリオにしていくスタートの年度です。製造業の会社において、デジタルプロダクトがプロフィットドライバーになる面白い節目に差し掛かっていると感じています。

現在デジタル戦略部には、新卒入社のメンバーから長年オーラルヘルスケアを担い専門知識をもつメンバー、クラウド・データ基盤構築のエキスパートまでさまざまなメンバーがいます。多種多様なバックボーンを持つメンバーが集うことで、仕事の共創や学びの場ができ、イノベーションが生まれてきています。ITとデジタルの垣根を超えた組織体制だからこそ、生まれてくるイノベーションだと思っています。

ライオンのデジタル戦略部は、テクノロジーで次のライオンを導く重要な役割を担っています。それはエンジニアにとって刺激や成長機会が溢れる環境です。さまざまなスキルをもつメンバーとともに、テクノロジーによる新しい習慣づくりを通じて、ライオンの未来、ひいては日本の未来の生活スタイルに貢献する仕事に挑戦してみませんか。

**多様なスキルの融合で、新しい習慣づくり、
新しいライオンを導ける組織へ。**

執行役員
全社デジタル戦略担当、デジタル戦略部担当

中林 紀彦

日本アイ・ビー・エム株式会社においてデータサイエンティストとして顧客支援に従事。
株式会社オプト、SOMPOホールディングス株式会社、ヤマトホールディングス株式会社の執行役員を歴任し、2024年4月にライオン株式会社の執行役員に就任。

130年のモノづくりの歴史をもつライオンでは、次のステップに行くためにもデジタルの力は必須です。

変革の過渡期の組織だからこそ、皆さんへ提供できる知見・経験があります。

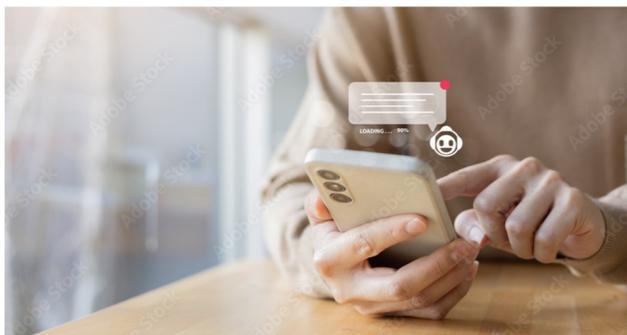
経営からプロダクトまでの 幅広い領域

デジタル戦略部のテーマは幅広いことが特徴。生成AIの活用から、深層学習・時系列予測、医療統計、クラウド上でのアプリ開発など。さまざまなスキルを活かせ、経験を積むことができます。



手触りのあるプロダクト開発

事業会社なので、事業が近いことがポイントです。実際に自分が作ったサービス・プロダクトがほかの人の役に立っている実感が得られます。



最新技術が身につく

さまざまなバックグラウンドを持ったメンバーが在籍。組織の垣根がないため、他グループメンバーとの会話も盛んです。最新技術のキャッチアップには、時間を使ってOK。個々のスペシャリティを大事にしています。



得られる知見・経験

“

戦略、オペレーション、事業開発などの責任者と事業会社ならではの距離間で、データ分析による意思決定に貢献できる経験が得られます。



“

業務を通じてデータサイエンスやAI開発の高度な知見を学ぶ機会が多くあります。業務効率化から新規技術や事業の開発まで参画するプロジェクトは多岐にわたりますし、その中で自分のスキルの幅を広げ専門性を高める機会が多くあります。



仕事のやりがい

“

自分が作ったモデルや分析結果が、ダイレクトに事業の意思決定に影響を与え、売上増、コスト減などの具体的な成果につながっていきます。そのため、自分の仕事が事業成長に寄与できていると実感を得やすいです。



“

ライオンはDXを推進しており、最新の技術やツールを活用する機会が豊富にあります。これらを実際の業務に適用することで常に技術力を高めることができるのは大きなモチベーションに繋がっていると感じます。



メッセージ

“

会社として大きな変曲点にあること、変化のためにデジタル技術が不可欠であることを経営層が認識しているので、デジタルで日本企業をよりよくしたい！という気持ちがある人にはとてもやりがいのある職場だと思います。



“

データサイエンスを得意とする人やアーキテクト関連の資格を多数持つ人が多く、皆さんとても若いです。職場はとてもフラットであり、多角なコミュニケーションが活発的で、どんな分野の方でも活躍・成長ができると思います！



カジュアル
面談も実施中



※選考状況によりフローが変動する可能性があります。

※原則、最終面接前に適性検査を受けていただきますが職種により選考フローが変更となる場合もございます。



LION

最後までご興味をもってくださいありがとうございます。
まずはカジュアル面談からお話できると嬉しいです！

エントリーはこちらから 

今日を愛する。
LION

Lion Corporation.

今日を愛する。

企業理念をシンプルに表し、お客様や社会とコミュニケーションする際の言葉が企業スローガン「今日を愛する。」です。人々が愛する大切な“今日”という日々の暮らしを、私たちも愛し、そこに貢献していく、という決意を込めています。

人の一生は、“今日”という一日一日を積み重ねたものであり、毎日を、前向きに、充実して生きることこそが、幸せの本質だと、LIONは考えます。

「今日を愛する。」には、“今日”だけではなく“未来”の意味も込めています。価値ある未来に向かって、めぐりくる“今日”という一日一日を、この瞬間を、いとおしみながら、ていねいに、前向きに生きていくこと。そんな一人ひとりの毎日を、より良い習慣づくりを通じて支え、サステナブルな社会への貢献に取り組むことが、私たちLIONの使命です。



お問い合わせ先

採用担当

hrcareer@lion.co.jp

